

サクサク
SAQ² JAPAN Project

～ 訪日外国人のICT利用環境整備に向けたアクションプラン ～

選べる (Selectable)、使いやすい (Accessible)、高品質な (Quality)
「サクサク」つながるICT利用環境を訪日外国人に！

平成26年6月12日

総務省

基本的な考え方

ICTは、訪日外国人と、日本の魅力との架け橋。

訪日外国人に対して先進的なICT利用環境を整備することで、日本の多様な魅力への出会い、日本滞在の感動体験をサポート。訪日外国人の更なる増加と我が国の新たな発展に寄与。

その際、次の点を念頭に置いて取り組むことが重要。

- 「おもてなし」は、渡航前から始まっている。

… 渡航前の期待感が高まっている時からアプローチすることが重要。

- 訪日外国人の一人ひとりのニーズに合った、いわば「オーダーメイド」的なICT利用環境を実現する。

… 訪日外国人の母国でのICT利用のバックグラウンドは多様。多様な個々のユーザーの視点で、自らのニーズに最も合ったものを選択できることが満足度を高める。

- 使ったことがある人も使ったことがない人も、全員が世界最高水準のICT利用環境にふれるようにする。

… 既に使ったことがある人にはより快適な質の高い利用環境を提供し、まだ使ったことが無い人には我が国の先進的なICTに触れてもらう。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、訪日外国人2000万人の高みを目指し、可能なものから**スピード感を持って実行**することが必要。

→ 関係省庁、機関、団体、事業者等と**幅広く連携し、必要な取組の推進を加速**。

1. 目指すは、訪日外国人が「**選べて**」「**使いやすく**」「**日本の魅力が伝わる高品質な**」ICT利用環境の実現。

■ 選べる多層的なICT利用環境の実現:

無料Wi-Fi、国内発行SIM、レンタル携帯、国際ローミング等の複数の通信手段をリーズナブルに利用できるようにする。

■ 使いやすいICT利用環境の実現:

訪日外国人は、限られた滞在時間の中で個々のニーズに合った地域を訪問。空港・駅、公共交通機関、宿泊施設、観光地といった訪日外国人の動線を念頭に、豊かな時間を過ごしてもらえよう、いつでも、どこでも、簡単に安心してICTを利用できるようにする。

■ 日本の魅力が伝わる高品質なICT利用環境の実現:

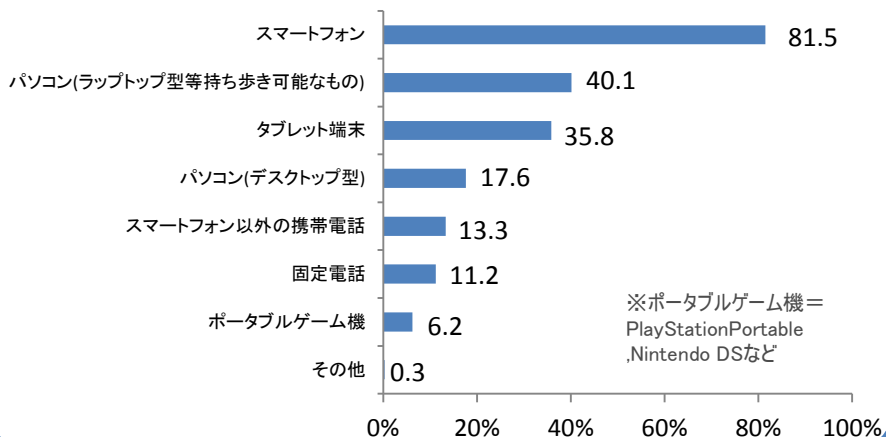
我が国の先進的なICTを活用して「日本語の壁」を取り払ったり、ニーズに合った情報と新しい発見との出会いの機会をつくることで、日本の魅力を余すところなく訪日外国人に伝え、感動を呼び起こすようにする。

2. こうしたICT利用環境の提供を、訪日外国人への豊かな「おもてなし」にとどめることなく、**我が国ICTのショーケースとして将来的な海外展開と貢献にも繋げる。**

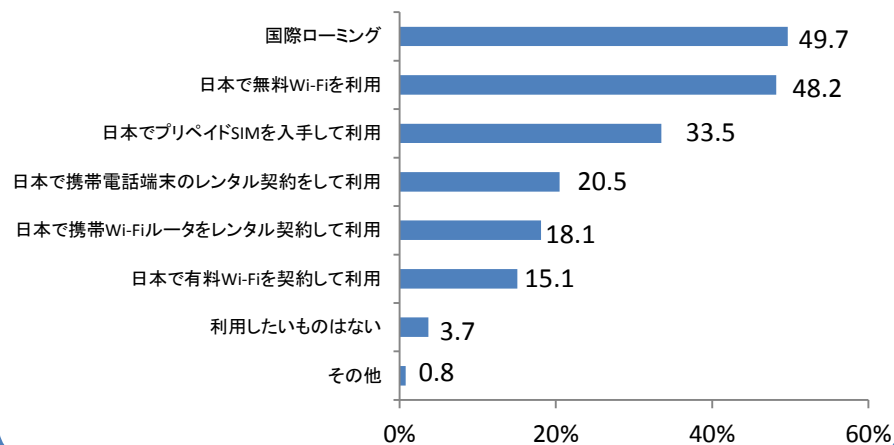
➡ **2020年以降の新たな展開・発展も念頭に置いて取組を推進**

(参考) 訪日外国人のICT利用環境に対するニーズ

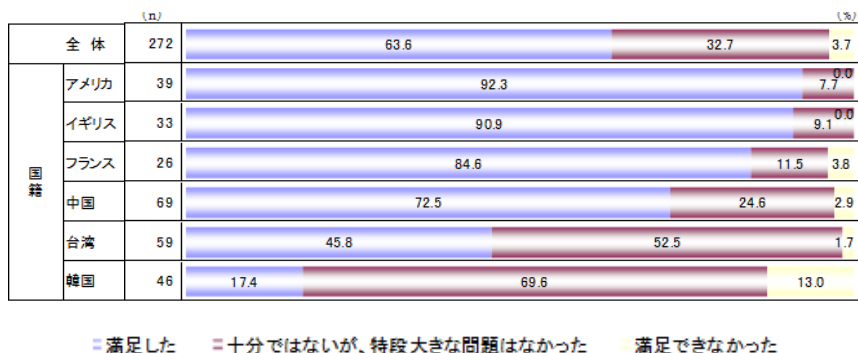
滞在中に使用した端末はスマートフォンが圧倒的だが、パソコン、タブレット、フィーチャーフォン、ポータブルゲーム機も。



日本訪問時に利用したい(利用しなかった)通信手段は、国際ローミング、無料Wi-Fi、プリペイドSIMの順。



ここ半年以内に日本を訪れ、無料公衆Wi-Fiに満足できなかったのは3.7%。



10言語程度の多言語対応により、訪日外国人の90%以上をカバー可能。

国籍・地域 (主な使用言語)	構成比 (%)	国籍・地域 (主な使用言語)	構成比 (%)
韓国(韓国・朝鮮語)	23.7	英国(英語)	1.9
台湾(中国語)	21.3	シンガポール(中国語、英語)	1.8
中国(中国語)	12.7	マレーシア(マレーシア語)	1.7
米国(英語)	7.7	フランス(フランス語)	1.5
香港(中国語)	7.2	カナダ(英語)	1.5
タイ(タイ語)	4.4	インドネシア(インドネシア語)	1.3
豪州(英語)	2.4	ドイツ(ドイツ語)	1.2

1. 無料Wi-Fiの整備促進と利用円滑化
2. 国内発行SIMへの差替え等によるスマートフォン・携帯電話利用の円滑化
3. 国際ローミング料金の低廉化
4. 「言葉の壁」をなくす「グローバルコミュニケーション計画」の推進

1. 無料Wi-Fiの整備促進と利用円滑化

課題

- 訪日外国人に無料Wi-Fi環境への強いニーズが存在。
- 我が国の無料Wi-Fi環境は大きく改善。しかし、地方を含め、訪日外国人の動線を意識した更なる整備促進が必要。
- 利用に際しての手続きの煩雑さが課題。
- 海外から持ち込まれる、我が国の技術基準を満たすことを予め確認していないWi-Fi端末の利用について整理が必要。

取組事項

- 関係省庁、事業者、エリアオーナー等から成る協議会の創設による、
 - (1)訪日外国人の動線上の利用が見込まれる地点での整備促進
 - (2)利用開始手続の簡素化・一元化に向けた方策の検討
 - (3)利用可能施設把握の容易化、訪日前登録の周知といった海外向け周知・広報の推進の実施【平成26年夏を目途に協議会設立、以後順次実施】
- 訪日外国人が必要とする観光情報等のオープンデータ化やクラウド化等を進め、それを無料Wi-Fi等により得られるようにするための環境整備及びアプリケーション開発の促進【平成26年度中に実施】
- 地方自治体等への整備支援や普及状況等を紹介するウェブサイトの設置【平成26年7月までに設置】
- 災害用統一SSIDを利用した災害時における有料Wi-Fiの無料開放の促進【速やかに着手】
- 一時的に国内に持ち込まれた我が国の技術基準を満たすことを予め確認していないWi-Fi機器の利用について整理【平成26年度中に検討・結論】

外国人の動線に沿った整備を促進



2. 国内発行SIMへの差替え等によるスマートフォン・携帯電話利用の円滑化

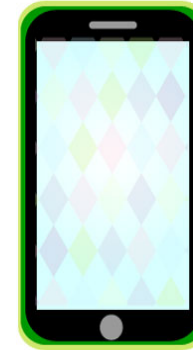
課題

- 我が国の通信インフラを、低廉にかつ一定のセキュリティを確保しつつ利用するには、国内発行SIMの利用が有力な選択肢。
- 現状では空港の売店や自動販売機といった場所でのSIM販売が諸外国と比較して限定的。
- 訪日外国人にとって、MVNO等の販売するSIMを利用する際の障害の一つは初期設定手順の煩雑さ。
- 海外から持ち込まれる、我が国の技術基準を満たすことを予め確認していない移動通信端末の利用について整理が必要。

取組事項

- MVNO等の販売するSIMの利用開始手続の改善等訪日外国人が迅速かつ容易に国内発行SIMを利用できる環境の整備【平成26年中に検討・結論】
- パスポートによる本人確認等、訪日外国人がSIMを円滑に利用できるようにするための方策の周知【平成26年度中に実施】
- 一時的に国内に持ち込まれた、我が国の技術基準を満たすことを予め確認していない移動通信端末の利用について整理【平成26年度中に検討・結論】

海外携帯端末



日本国内発行SIM



例：「Prepaid LTE SIM by So-net」の自動販売機（関西国際空港）

3. 国際ローミング料金の低廉化

課題

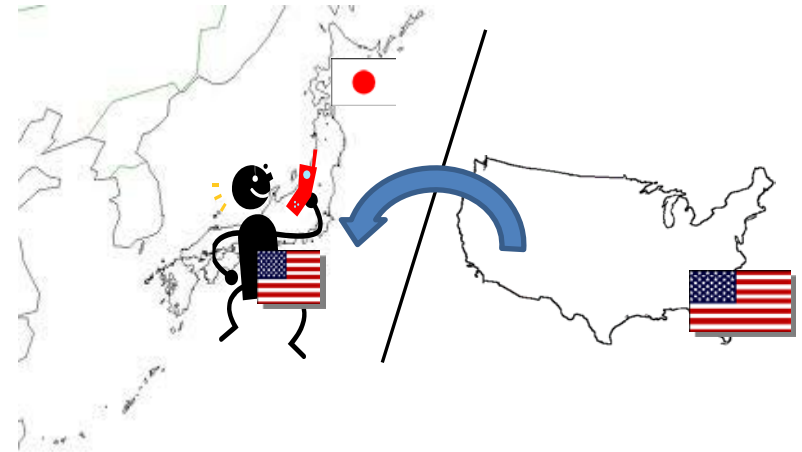
- 国際ローミングは最も手軽に我が国の通信インフラを利用する方法の一つであり、利用ニーズも高い。しかし、その料金は高止まり。
- OECD、ITUといった多国間の枠組みでは、国際ローミング料金低廉化の必要性は認識。しかし、具体的な取組は進んでいない。
- 通話については、Skype、LINE等が代替手段として存在し、その普及も進んでいるため、まずは、国際データローミング料金低廉化の取組を進めることが必要。

取組事項

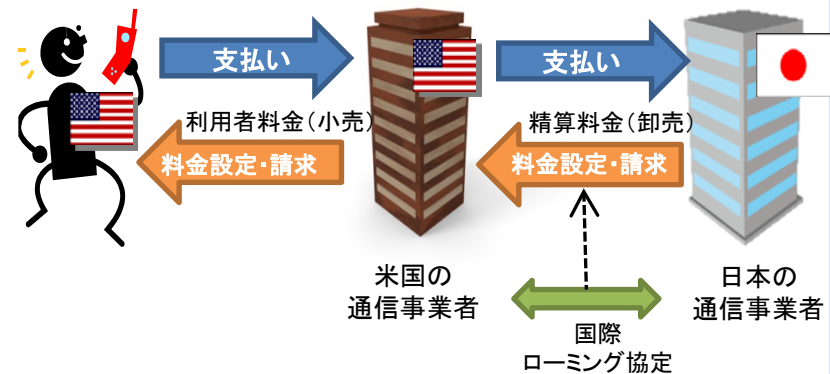
- 国際データローミング低廉化に向けた二国間協議の推進【速やかに着手】
- 国際ローミングに関する二国間協議の結果を実効あるものとするための制度的担保措置の検討【二国間協議の進展に応じ整備】

国際ローミングとは

国内で使用している端末・電話番号のまま、海外で通信サービスを利用できるようにするもの。



《精算の流れ》



4. 「言葉の壁」をなくす 「グローバルコミュニケーション計画」の推進

課題

- 日本語は外国人には習得が難しい言語。他方、日本で生活する上で必要となる情報の多くは外国語で提供されていない。
- こうした困難を解消するためには、多言語音声翻訳システムを最大限に活用し、言葉の壁を取り払うことが重要。

取組事項

※「グローバルコミュニケーション計画」として公表
(平成26年4月11日)

- 多言語音声翻訳システムの翻訳精度向上・対応言語数拡大に向けた研究開発の実施[一部実施中、今後更に研究開発を強化]
- 産官学連携による様々な利用シーンに応じた翻訳アプリケーションの開発・社会実証の実施[平成26年中に推進体制整備、東京オリンピック・パラリンピック開催までに社会実装]



翻訳アプリ「VoiceTra4U」



街中で翻訳システムを利用可能に